

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

社協だより

56

平成27年7月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで



第28回福祉のつどいを開催しました

写真／ダンスフロム保内の皆さんによるダンスライブ



平成27年5月31日（日）10時から、新町ドームで第28回福祉のつどいを開催しました。当日は晴天に恵まれ、約500名のボランティアスタッフと、約2,000名の市民の方々に賑わいました。

今回は、「これまでの出会いに感謝！新たに紡ぐ強い絆」をサブテーマとして掲げました。平成27年度は、八幡浜市と保内町が合併して10年目を迎えます。福祉のつどいを通してこれまでに生まれてきた出会いと、合併を契機に生まれた新たな出会い、すべての出会いに感謝し、今後も連携・協働を深めていくと同時に、新たな仲間と共に活動できるような取り組みを進めていきます。

今回も新たな出会いや企画がありました。八幡浜市・保内町合併10周年ということで、地元からダンスフロム保内の皆さんにご出演いただき、テンポのいいダンスミュージックに合わせて、小さな子ども達の可愛いダンスや、大人の魅力あふれる華やかなダンスをご披露いただきました。

ダンスフロム保内は、上田裕美代表の指導のもと、保育園児から小学校低学年までの1時クラス、小学校高学年までの2時クラス、中学生以上社会人までの3時クラスの3つのクラスに分かれて、各クラス約20名、総勢約60名のメンバーが、毎週土曜日に保内町福祉会館でのレッスンに励んでいます。

ミニ八日市の同時開催 新町商店街振興組合協賛

福祉のつどいは、北浜グラウンドで行っていましたが、第15回目から新町ドームに会場を移しました。その原点でもある、新町商店街との連携・協働の推進に取り組んだところ、八日市の出店業者に呼びかけていただき、「ミニ八日市」を企画していただきました。同時に、開会後のお餅まきでは、お餅と一緒に「お買い物券」を寄付いただき、まくとという商人ならではの発想で、福祉のつどいを大いに盛り上げていただきました。

この度の「ミニ八日市」の開催にあたり、新町商店街振興組合の小山理事長より、メッセージをお寄せいただきました。

新たに紡いだ強い絆を ありがとう！

新町商店街振興組合

理事長 小山 一

第28回福祉の集いが大盛況のうちにフィナーレを迎えられたことに、まずお慶びを申し上げます。

当初、狭い新町ドームではなく、広い屋外スペースでの開催をお勧めした



多くの人で賑わう新町商店街

わけですが、今回新たに趣向を加えて協賛させていただき、「商店街は地域の財産」であると再認識することができました。

まず、市内中心部にあるため交通弱者であるお年寄りが集いやすく、イベントには参加しない市民の方にも広く内容を見てもらえます。そして、商店街のアーケードは天候の影響を受けないため、雨を凌げるのももちろん真夏のような日差しも遮ることが出来ました。そして3方向に開けている新町ドームから、新町商店街沿いに人の輪がま

ちちに広がっていくのを実感できました。今回の目玉コーナーである「お買い物券10万円」は、集客に効果があったとともに来場者の方々が会場周辺を散策してもらうのに大いに役立ったと思います。新町商店街としては、知恵を凝らせて皆と協力すれば、まだまだやれる！と確信を得ました。

今後、夏の一大イベントである土曜夜市に向けて、より一層市民の方に喜んでてもらえる商店街を目指します。最後に、今回のイベントに関わられた全ての皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたします。来年も新町ドームでお会いしましょう！できれば前夜祭から設営いただけると幸いです。

サロン事業の紹介 布ぞうりの販売

サロン「福寿会」

会場内のブースにも新たな出会いがありました。社会福祉協議会で実施している「ふれあい・いきいきサロン事業」の紹介コーナーと一緒に、日土地区のサロン「福寿会」の皆さんによる布ぞうりの販売コーナーが初出店しました。

販売された布ぞうりは、サロンの皆さんが丹精込めて作られた手作り品で



福寿会による布ぞうり販売コーナー



パネルによる事業紹介

す。日土地区の地域行事で販売されたり、道の駅 八幡浜みなっつでも販売されています。

参加いただいた方からの 心温まるお話

今回のサブテーマ「これまでの出会いに感謝！新たに紡ぐ強い絆」にちなんで心温まるお話を紹介します。

福祉のつどいにYGP（八幡浜元氣プロジェクト）のメンバーとして、ご協力いただいている西本 好江さん。

さかのぼること24年前、第4回福祉のつどい。当時、松蔭保育所の年長さんだった西本さんは、同保育所の年長さんみんなど、寒空の中、北浜グラウンドで元氣いっぱい松蔭太鼓を披露したそうです。



第4回福祉のつどい 松蔭太鼓の様子



ゴミ分別の協力を呼びかける西本さん（写真右）

西本さん「毎年、福祉のつどいになると松蔭太鼓を披露したことを思い出し、懐かしく感じます。大人になった今、YGPとして福祉のつどいに参加させていただいて、新たな出会いや懐かしい出会いがあり、絆が広がる素敵なイベントだと思っています。」

福祉のつどいには、地域の方をはじめ、各関係機関・団体や商店街など、普段様々な環境で生活されている人が集まります。久しぶりの出会いを懐かしむ場であり、新たな出会いが生まれる場でもあり、何より参加される皆様の思い出を刻んでいく場であることを、改めて気づかせていただきました。今後もうこうした一つひとつの絆を紡いでいき、絆の輪を広げていきたいと思えます。

社協では、市民の皆様のご家庭に眠っている 餅つき機を4台募集しています!!



福祉のつどいは、大勢の人の力で支えられています。福祉のつどいの名物ともいえるお餅まきの準備では、約50名のボランティアの協力により、14斗（約200キロ）のお餅をつきます。

多くのボランティアと一緒に長年、影ながら支えてくださっているのは4台のベテランお餅つき機です。そのうちの2台が、今年の福祉のつどいの準備中に故障しました。そこで、社会福祉協議会では、市民の皆様のご家庭にひっそりと眠っている餅つき機を募集しています。寄贈いただける方は、左記までご連絡ください。

八幡浜市社会福祉協議会

(☎0894-23-2940)



福祉のつどい名物！お餅まき



平成27年度7月より 社会福祉協議会会員加入に ご協力をお願いします

社協会費とは

社会福祉協議会（社協）は、市民の皆さまが会員となって、地域の福祉を高めていく活動に参加していただくことを目的とした団体です。

社協会費は、昭和47年より始まりました。赤い羽根共同募金と並び、長年、八幡浜市の地域福祉を支えるための貴重な財源として役立てられています。

社会福祉協議会とは

八幡浜市社会福祉協議会は、昭和26年に発足し、昭和37年には社会福祉法人（民間団体）となりました。

「こんな八幡浜市にしたい」「こんな八幡浜市に住みたい」「困っていることがある」「こんな福祉サービスが必要」・・・八幡浜市社会福祉協議会では、このような声のもとに、『すこやかな心ふれあうまちづくり』に取り組むため、住民や関係機関の皆さまにご参画いただき、地域福祉活動の推進に努めています。市民誰もが住み慣れた八幡浜で暮らしていけるように、福祉の視点で地域に関わっています。

7月より、市民の皆さまにご協力をお願いさせていただきます。社会福祉協議会の取り組みにご賛同いただき、地域福祉活動にご協力くださいますようお願いいたします。

平成26年度 社協会費納入実績（地区社協別）

地区社協名	会費納入額（円）
江戸岡	532,650
松蔭	649,085
白浜	715,000
千丈	600,300
神山	858,100
舌田	127,650
川上	247,100
真穴	345,000
双岩	291,000
日土	387,500
喜須来	564,500
川之石	718,500
宮内	707,000
磯津	131,500
合計	6,874,885

■ 一般会費 500円

各世帯にご協力いただいています。

■ 特別会費 1,000円

各世帯、個人、団体、企業の皆さまにご協力いただいています。





平成26年度
ボランティアワークキャンプ



ふれあい・いきいきサロン
「たちばな」(白浜)

社協会費は
あなたの身近な地域で
活用されています



ふれあい子育てサロン
「ぼっぼくらぶ」(双岩)



磯津地区社会福祉協議会
地域福祉普及向上事業

3地区交流 一人暮らしお年寄りの集い

平成27年5月23日(土) 11時から、真穴地区公民館のホールにおいて、平成27年度一人暮らしお年寄りの集いが開催されました。

この事業は、地域にお住まいの70歳以上の一人暮らし高齢者を対象とした交流促進事業です。八幡浜市海岸部では、舌田地区・川上地区・真穴地区の3つの地区の「地区社会福祉協議会」が合同開催しています。今年で17回目の開催となり、この日は3地区から110名の参加がありました。

「真穴保育所」の園児による太鼓演奏、歌や踊りが披露されました。元気のいいかけ声に会場では笑いが起こり、会場を和ませてくれました。そして、舌田地区から出演の「さざ波会」による大正琴の演奏では、「空がとつても青いから」他2曲が披露され、曲を懐かしみながら、演奏に耳を傾けていました。

午後からは、河野真典氏による健康体操。「笑うしぐさ」「日差しがまぶしくて手をかざすしぐさ」など、日常動作を取り入れた体操で体をほぐしていただきました。そして、八幡浜市穴井出身の藤ひろし氏のトークと歌謡ショー。

最後に、穴井駐在所の石村氏より、振り込め詐欺に対する注意の呼びかけがありました。

次回開催地の舌田地区社会福祉協議会の矢野会長から、来年は舌田でお会いしましょうと挨拶があり、閉会しました。



小さくて可愛いはまぼんたちが元気に歌いました

小学校4年生⇩8歳のお年寄りに変身!

平成27年6月5日(金) 9時15分～11時、宮内小学校体育館にて4年生37名を対象に福祉教育を実施しました。

この日取り組んだのは、「高齢者疑似体験」。体験に入る前に生徒たちのおじいちゃん・おばあちゃんの年齢を聞いてみると50～70歳代と答える中、体験中には80歳のおじいちゃん、おばあちゃんをイメージしながら、80歳になりきって学習に取り組んでもらいました。

生徒には、「体験者」、「介助者」、「観察者」の役割にそれぞれ取り組んでもらいました。「体験者」は、高齢者疑似体験セットを身体に取り付け、高齢者になりきります。「介助者」は、その体験している生徒に寄り添い、介助をし



高齢者疑似体験セットを装着!

ます。そして「観察者」には、体験・介助している生徒の様子をしっかりと観察し、ワークシートに書き出してもらいました。

年を重ねることで身体にはどんな変化が現れる?

体験のメニューは、①本を読んでみよう、②文字を書いてみよう、③ご飯を食べよう(小豆つかみ)、④階段を昇り降りしようの4つ準備しました。生徒たちも、普段何気なく行っている動作です。

①～③は、全て椅子に座って作業しました。膝につけた拘束具で、立ち上がりの困難さを体験します。また、肘・手の拘束具や重りを付けて手先が使いづらい状態を体験します。階段の上り下りは、ステージの階段で実施しました。視野欠損や白内障体験のゴーグルで視覚障がい体験も行いました。全員が各役割を体験しました。笑い声も聞こえつつ、与えられた役割をきちんと理解し、取り組むことができました。



幅の狭い階段、どう介助する?

地域に暮らす
様々な「人」に気付く
様々な人が暮らす
「地域」に目を向ける

今回の学習では、歳を重ねることで起こる体の変化を体験し、高齢者の生活に目を向けました。生徒たちは事前在校内のバリアフリーについて調べていました。疑似体験を通して、改めて不便さに気付く、その不便さを解消す

るための方法を考える機会となりました。また、地域に暮らすのは自分たちのような子どもやこの日体験した高齢者だけでなく、もっと小さな赤ちゃんやお父さん・お母さんのように仕事をしている人、心や身体などに障がいを持つ人など様々な人がいることも忘れずにいてほしいと伝えました。地域に目を向け、「気付く」力を養いました。

八幡浜市社会福祉協議会では、学校などに出向き、ノーマライゼーションや地域福祉に関する講座に取り組んでいます。



「おばあちゃん」の様子を観察します

介護予防のデイサービス 「健康クラブ」のご紹介

八幡浜市社会福祉協議会では、要介護認定を受けていない市内の高齢者を対象に、健康クラブ（介護予防教室通所事業）を開催しています。（八幡浜市より受託）

健康クラブでは、利用者の皆さんが生きがいを持って健康に過ごせるように、脳トレや介護予防体操などを取り入れた内容に取り組んでいます。

今回、「さわやか班」のみなさんの利用日にお邪魔して、5名の方に一言インタビューをしました。

健康クラブに通って 13年目のお二人

平成15年度から利用されている井上玉枝さんと坂井久美子さんに、続けられている理由を伺いました。

井上さん

『私は今一人暮らしです。家に一人であるよりも、健康クラブに来てお友達と笑って時間を過ごすことで介護予防になっていると思うので、楽しく通っていますよ』

坂井さん

『手芸をしているのですが、その作品を持って来て、みんなに見てもらえるのが嬉しいです』

さわやか班の黒一点！
書も絵もお見事！

矢野 肇さんは、さわやか班の中で唯一の男性利用者さんです。ご自宅で書かれた書や絵を持参され、班のみなさんやスタッフにプレゼントしてくださいます。インタビューさせていただいた日にも、新しい書を額縁に入れ、持って来られていました。



矢野さんの達筆な作品

矢野さん

『今日持ってきた書には、歳を取って今思うことを書いてきました。年寄りの人生は、いろいろな思い出を

つなぎ合わせていくことだと思えます。良い思い出を残しながら、一日一日を大切に生きていきたいと思い、「どう生きる」という書をかきました。人それぞれ感じることは違うけれど、「自分はこう思うな」とか「矢野さんはこんなこと考えとるんやな」とかいろいろ感じてほしいと思い、みんなに見てもらっていますよ』

「新人です」

今年度から参加の三人娘

今年度からさわやか班に参加し始めた井上敏子さん、上田秀子さん、藤井濱子さんにも、参加してみたの感想をお聞きしました。

上田さん

『字を書くのが苦手なのですが、書いてみることで思いつくし、計算や間違い探しもやってみていく内に分かるようになってきました。ここに来ていたら、認知症の予防になるなと思います。頭を使うと、くたびれますけどね。』

藤井さん

『脳トレの答えが難しいです。これから頑張つてできるようにになりたいと思っています』

井上さん

『とても楽しく参加しています。さわやか班の日が待ち遠しいですね。』



この日参加されていた「さわやか班」のみなさん 素敵な笑顔！

健康クラブ

（介護予防教室通所事業）の
お問い合わせは…

八幡浜市保健センター

高齢者相談係

☎0894・24・6626

平成26年度生活困窮者自立支援のとりくみについて報告します

制度の狭間にある市民を 地域社会で支えるために

平成26年4月1日から平成27年3月31日八幡浜市より八幡浜市社協が生活困窮者自立支援促進モデル事業を受託しました。愛媛県内では、本市、宇和島市、今治市がモデル事業に取り組みました。八幡浜市社協においては左記の事業に取り組みました。

- ① 生活のこと、家計のこと、仕事のこと
とに悩んでいる市民の相談窓口を八幡浜市社協に設置
- ② 民生児童委員と連携した貧困調査
- ③ 医療、保健、福祉関係者との座談会
- ④ 研修会
- ⑤ 八幡浜市役所担当課及び関係機関との連携会議

相談窓口には15件の相談がありました。うち、9件は生活に困窮の状態にある当事者の方から相談をいただきました。6件は民生児童委員や地域包括支援センター、医療機関からの相談でした。相談内容としては、「同居している子どもがひきこもりの状態」、「仕事が見つからない・長続きしない」、「借金が多くて悩んでいる」、「税金や電気代の支払ができない」、「相談できる人

がいない」などでした。八幡浜市社協は当事者や家族との定期的な面談、ハローワークや税務課への同行、弁護士・法テラスへの橋渡しし、生活福祉資金貸付制度の貸付、家計管理、生活保護申請の同行等をお手伝いしました。15件の相談の内、50代後半の男性は、自立にむけた目標とプランを一緒に作り、困窮状態を抜け出すことを目指しています。

平成27年度も引き続きこの取り組みを続けていきます。相談・プラン策定は無料です。

生活のこと、家計のこと、 仕事のことについて悩んでいませんか？

電話・訪問・来所など、ご希望の方法でご相談に応じます。

八幡浜市社会福祉協議会
地域福祉課
0894-23-2940

一人で悩まず、まずは、問題や課題を一緒に整理しましょう。

平成27年度 心配ごと相談所開設のご案内

八幡浜市社協では、昭和35年より心配ごと相談所を開設しております。無料、秘密厳守です。民生児童委員、弁護士、司法書士、障害福祉の相談員、社会福祉士があなたのお話をじっくり伺います。

八幡浜市社会福祉協議会本所

一般相談	第1・第3木曜
相続相談	第1月曜日
法律相談	第2木曜日

八幡浜市社会福祉協議会保内支所

一般相談	毎月10日
相続相談	7/16・10/15・1/14

※開所時間13時30分～16時。開設日など詳細は、八幡浜市社協のホームページや八幡浜市の広報紙でご確認をお願いします。

※相続相談・法律相談については下記まで事前予約が必要です。

問合せ・予約…八幡浜市社協地域福祉課 ☎ 0894-23-2940

平成26年度は
111名の相談を
受けました

- 財産に関すること…相続や遺言、知人との金銭トラブル
- 家族に関すること…配偶者や親族等との人間関係のトラブル、離婚、認知症や障害のある親族の生活の心配、墓の管理
- 住まいに関すること…誰も住んでいない親族の家の老朽化、近所の騒音

など、お気軽にご相談ください。